

学校再開後の部活動実施に係る対応マニュアル（御厨版）

～安全で充実した部活動の実施のために～

令和2年8月
足利市立御厨小学校

部活動の実施に当たっては、足利市「新型コロナウイルス感染症に対応した学校生活ガイドライン（改訂版）」および「足利市立中学校部活動ガイドライン」等を踏まえ、教師の監督のもとに、可能な限りの感染症対策を行った上で活動を行えるように配慮する。

（1）健康観察の徹底

- ①家庭と連携し、毎朝の検温や風邪症状等の確認を行う。→健康観察カードで確認
- ②練習前後の手洗いと健康観察を徹底する。
- ③児童の体調に留意し、発熱の症状が見られる場合は、部活動への参加を見合わせ、自宅で休養するよう指導する。

（2）活動場所や用具等の衛生管理の徹底

- ①座席の間隔を離して配置する等、児童同士の距離を離す。また、気候上可能な限り常時、換気を実施する。
→第1音楽室：トランペット、アルトホルン
→第2音楽室：ユーフォニアム、トロンボーン、チューバ、打楽器
- ②部室の使用に当たっては、使用時間を短縮させたり、少人数で交替で利用させたりする。→部室の出入りは、一方通行とする。
- ③使用した教室については、練習後の消毒を行う。

（3）活動について

- ①マスクの着用について
○活動する際は、マスクを着用する。（準備、片付け、あいさつ）
○楽器を演奏する際は、換気や距離を十分とるなどの配慮の上、マスクを外して活動させる。
○顧問は、原則としてマスクを着用する。ただし、自らの身体へリスクがあると判断する場合は、マスクを外すことは問題ない。その際は unnecessary な会話は行わず、児童との距離を確保する。
- ②児童を集合・整列させる場面では、間隔を十分確保する。
- ③休憩の際の手洗いや消毒の徹底に努める。

（4）本人・保護者への対応について

感染への心配等から部活動に参加したくない（させたくない）と考える児童や保護者に対して、各学校および各部活動ごとの感染防止対策を丁寧に説明した上で、なお部活動への参加について懸念する場合は児童・保護者の意思を尊重した対応をすることが望ましい。